GLOBAL CULTURE

国際文化学部

2021
START!

「問い」が「世界」をつくる

人文学科

文学専攻

歴史専攻

社会専攻

日本文化専攻

グローバルスタディーズ学科

グローバル関係専攻

グローバル共生社会専攻

アフリカ・アジア文化専攻

KYOTO
SEIKA
UNIVERSITY

京都精華大学

グローバルとローカルの視点から、多様な人々が暮らす社会のより良い姿を追求する

人やモノ、情報が国境を越えていく時代。私たちが暮らす日本・京都という「ローカル」を深く理解し、
「グローバル」な世界とコミュニケーションする力がますます求められます。
京都精華大学の国際文化学部は、フィールドワークを軸とした学びで、
“個人として世界とつながる力”を実践的に身につける教育を行います。

人文学科（入学定員：160名）

人文学科のグローバル教育は、身の回りにある文化を深く理解することからはじまります。日本というローカルと向き合うことを通して、国や文化の違いを越えて他者と共生する力を身につけます。

学びのポイント

- 京都の地の利を活かして学ぶ
- 体験を通して多様な価値観に触れる
- グローバルな視点で日本を見つめ直す

文学専攻
日本独自のことばを通して文学の世界をひらく

歴史専攻
過去の人間の生き方から現在・未来のあり方を提唱する

社会専攻
身近な問題から現代社会を読み解き、解決法をさぐる

日本文化専攻
日本の文化とは何か。京都の特性を活かし探求する

めざせる将来

編集者、ライター、小説家、学芸員、公務員、NPO・NGO職員、伝統産業に携わる仕事、ツアープランナー、キュレーター、学校教員、営業（総合職）など

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状（国語・地理歴史・公民）、中学校教諭一種免許状（国語・社会）、図書館司書、博物館学芸員

※2021年度開設にて文部科学省・関係機関へ申請予定。

グローバルスタディーズ学科

（入学定員：90名）

グローバル化の進展とともに大変革期を迎えるアフリカ・アジア。グローバルスタディーズ学科では、世界各地でのフィールドワークを通じて、アフリカ・アジアの文化や歴史、政治経済を多角的に捉える力を身につけます。

学びのポイント

- フィールドワークを中心とした学びで幅広い知識と経験を得る
- 進化・発展が著しいアフリカ・アジア地域から世界を見つめる
- 世界各地での研究経験豊富な教員が指導を担当

グローバル関係専攻
「国」や「地域」という単位でグローバル社会を考える

グローバル共生社会専攻
文化や価値観の異なる人々がつくるよりよい世界のあり方を考察する

アフリカ・アジア文化専攻
アフリカ・アジア地域からグローバル社会を考える

めざせる将来

旅行コーディネーター、外資系企業でのマーケティング職・セールス職、国際公務員、NPO・NGO職員、国際ボランティアコーディネーター、学校教員、起業家など

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状（公民）、中学校教諭一種免許状（社会）、図書館司書、博物館学芸員

POINT

お互いの学科の専門科目も履修可能

人文学科とグローバルスタディーズ学科は、相互に専門科目を履修可能。
グローバルとローカル、それぞれの視点を持つ学生がともに学びあいます。

インタビュー

京都精華大学　ウスビ・サコ学長

あなたの「問い」が「世界」を変える

誰かが作ったルールに従うのではなく、
対話によって他者との違いを認め合い、
ともに新しい社会をつくること
――本当のグローバル化は
私たち自身が自分を知ることからはじまります。

個と個の関係がつくる、本当のグローバル化社会

みなさんは「グローバル化」にどんなイメージを持っていますか？「外国語を話すこと」「海外で働くこと」でしょうか。あるいは、「世界中どこでも同じクオリティ」の商品を展開する、グローバル企業の名前が思い浮かぶかもしれません。しかし、私はひとつの文化に世界が同化することは、本当のグローバル化ではないと考えています。なぜなら、私たちは、誰ひとりとして同じ人間ではないからです。異なる価値観を持つ者同士が、お互いに同化しないで共に生きようとしてはじめて、多様性のある豊かな社会が生まれるのです。

今は、ネットを介して世界の情報を得られます。洋服や食べ物も、国境を超えて私たちの手元にやってきます。人の移動も活発ですから、国や文化が異なる人と家族や友人として関係を結ぶことも増えていくでしょう。そこで重要になるのは、国を単位とした関係ではなく、個と個の関係をむすぶことです。

国際文化学部はフィールドワークを重視します。異なる地域や国、文化に飛び込んで、自分の身体を通して相手を知ることを経験してほしいからです。ひとりの人間として相手を理解することは、必ず自分を知ることにもつながるからです。

自分に「軸」があれば、多様な人と関わり合える

京都は1200年の都だと言われますが、なぜ京都の文化は今に受け継がれているのでしょうか？それは、本質となる軸をしっかりと持ちながら、時代ごとに新しいものを柔軟に吸収してきたからだと思います。社会にしっかりとした軸があれば、多様な人たちが関わることができますし、結果として社会そのものが豊かになっていきます。

個人についても同じことが言えます。みなさんが自分の軸をしっかりと持てば、自然といろんな人たちが関わりを持とうとしますし、新しい社会を一緒に考えるきっかけも生まれます。異質なものを排除してしまうのは、その人自身に自信がないからです。お互いの違いを尊重しあい、認め合いながら共存していくこと。私はそれこそが、真のグローバル化において求められる、共生社会の基本条件だと考えています。

答えを出す人ではなく、問いを立てる人になろう

経済を中心としたグローバル化は、すでに綻びを見せはじめています。たとえば、イギリスの EU 離脱という問題も、経済的な視点でつくられた EU という共同体の限界を示していると言えます。今、「真のグローバル化とは何か？」を、新しい視点から問い直す時期にきているのです。

新たなグローバルのあり方を模索するとき、これまで「答え」とされてきた論理体系が役に立たない可能性もあります。時代の最先端に生きている若いみなさんには、すでにある「答え」を探すのではなく、自分を軸として「問い」を立てる力を持ってほしいと思います。

はじめは、とても小さな問いでよいのです。問いは、必ず次の問いへとつながり、やがて自分の価値観をかたちづくります。その価値観を軸として、より大きな問いを立ててみてください。その繰り返しがあなた自身の軸をつくり、他者との対話を生み出し、やがて世界を変えていくのです。

ウスビ・サコ

アフリカ・マリ共和国出身。中国・北京語言大学、南京東南大学を経て来日。京都大学工学研究科博士課程修了。博士（工学）。2001年より本学教員。バンバラ語、英語、フランス語、中国語、関西弁を操るマルチリンガル。専門は空間人類学。

人文学科

Department of Humanities

京都で文学・歴史・社会・日本文化を学ぶ

1989年、「行動する人文学」をスローガンに開設した人文学科は、体験的な学修を通して世界に開かれた学生の育成に取り組んできました。2021年、文学・歴史・社会に日本文化を研究領域に加え、国際文化学部人文学科として新たにスタートします。「他者とは何か」「世界とは何か」という視点は、自分自身の足元にある文化と向き合うことから生まれます。そして、異なる価値観に触れる体験を通して、グローバル化する社会で他者と共生する力を身につけます。

文学専攻

小説や詩歌、戯曲、評論など――上代から近現代までのあらゆる日本文学を対象に、作品講読や作家研究を行います。それぞれの時代の精神や文化、そこに生きていた人間の心理や感性を学び、「人間とは何か」という本質的な問いに迫ります。

歴史専攻

京都は歴史を学ぶのに絶好の場所。この土地柄を活かし、文献研究に加えて、史跡を巡る現地調査も行います。対象となるのは古代から近現代までの日本史。過去の人々に学び、自分自身の生き方とこれからの社会を考えるヒントにします。

社会専攻

家族、教育、環境、ジェンダーなど。個人と集団の関係のなかで発生する諸問題を解明するために、社会学の理論や社会調査の手法などを学びます。また、フィールドワークで現地におもむき、五感を働かせて問題の本質に迫る力も養います。

日本文化専攻

文化とは、「それぞれの時代に生きた人々がつくりだし受け継いできたいとなみ」。伝統文化からマンガ、音楽、映画などの大衆文化まで、日本文化を切り口に、日本社会の変遷を考察。世界のなかの日本を新たな視点で見つめ直します。

4年間の学び

1年次　人文学の基礎を知る

1年次は専攻に所属せず、各専攻の基礎を学びながら、それぞれの特徴や研究手法の違いなどを理解。自分の興味に基づく研究テーマを探します。また、少人数クラスで「読む」「書く」「話す」を学び直し、ことばを通して自分と他者への理解を深めていきます。

2年次　4つの専攻に分かれて学ぶ

文学・歴史・社会・日本文化の専攻に分かれて専門知識の理解を深めます。また、少人数のゼミで同じ分野に興味を持つ仲間と議論しながら、自分の研究テーマを探求。3年次のフィールド・プログラムに向けて、担当教員の指導を受けながら調査計画を立てます。

1 キャンパスを出て、現場で学ぶ

3年次の2ヶ月間は、全員がキャンパスを離れて現地調査を行うフィールド・プログラムへ。見る景色、出会う人、聴くことば、感じる空気の匂いまで未知の場所で多様な価値観に出会い、自分を見つめなおすことは、身近な地域や文化への新たな視点を獲得することにつながります。

フィールドワーク事例

- 出身地域で説話・伝承を研究
- 遺跡を発掘して平安文化を研究
- 京都の聖地巡礼で森見登美彦作品を研究
- お香の制作体験で「薫物」を研究

STEP 1　テーマ設定

自らの興味や関心にあわせて調査テーマを決めます。テーマは専攻にこだわらず自由に設定し、追究することができます。

STEP 2　研究計画を立てる

現地での調査手法や訪問先の地域について理解を深めます。担当教員の指導のもと、2ヶ月間の研究計画を立てます。

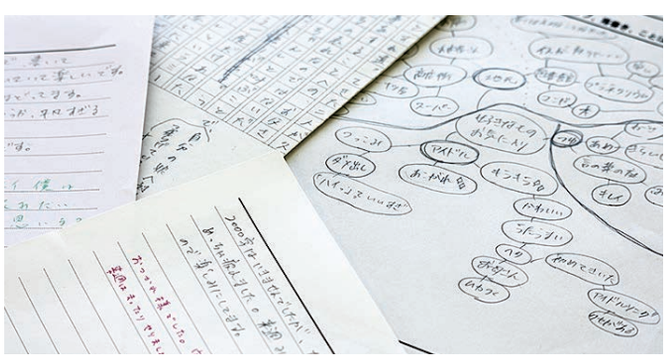
STEP 3　日本全国の現場で学ぶ

テーマに合わせて拠点となる地域を設定します。寺社仏閣や映画・小説の舞台など、北海道から沖縄まですべてが研究拠点（現場）になります。

STEP 4　検証・報告を行う

2ヶ月間に集めたデータや体験を整理し、活動報告を行います。得たフィードバックを参考に内容を整理し、卒業論文に向けて準備します。

2 「ことば」から自分と世界を再発見



少人数クラスで、「読む」「書く」「話す」の力を磨き、主体性あることばを使う力を鍛えます。作品批評やエッセイなど多様なことばの表現を学ぶとともに、作品を制作・発表。お互いの作品について意見交換も行います。
また、外国語については、英語、中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、スワヒリ語の計11か国語から選択し、コミュニケーションのための実践的な語学を学びます。

3年次　キャンパスの外で調査・研究

2年次までに学んだ知見を検証するため、2ヶ月間のフィールド・プログラムへ。異なる文化を持つ社会に身を置くことで生きた知識を吸収します。プログラム終了後は、収集したデータや資料を整理して教員や仲間に報告。議論によって理解を深めます。

4年次　卒業研究に取り組む

3年次までに得た知識と経験をもとに、自分の研究してきたテーマを他者に伝わるように論理的に構成。卒業論文として発表します。論文執筆には、担当教員が親身になって指導にあたり、構想を練るところから文章の校正まで、一対一でアドバイスします。

わたしの「問い」× 人文学科

たとえば、社会に大きな混乱をもたらした新型コロナウイルスをめぐる状況のなかで、
歴史や文学を学ぶことにどんな意味があるのでしょう？ あるいは、
敷居が高いと感じる伝統文化の入り口はどこに？ 人文学科の先生たちに聞いてみました。

Q. ウイルス感染を描く映画はありますが、そんな古典文学ってあるのでしょうか？

未知のウイルス感染を描いた、未来的な映画はたくさんありますが、もしかして遠い昔にもウイルスをテーマにした文学はあったのでしょうか？

A. 中世には病を恐ろしい異類異形の姿で描いた絵巻が作られました。

ウイルスを知らなかった時代には、病を鬼や異類異形の姿であらわすことがありました。絵巻物としてもたくさん作られています。さらに病は本人の過失によるものと考え、特に疫病のような国家的災害は、国を司る天皇や政治家が悪く、神や怨霊が怒って祟りを起こしたと解釈しました。祇園祭や今宮祭のような京都を代表する祭は、もともと神を慰め、鎮めようとする儀礼でした。

こうした発想は非科学的で、現代とは無関係だと思うかもしれません。しかし、ではなぜ感染症にかかった日本人は周囲に謝罪するのでしょうか。なぜ中世の絵巻は今も人気で、現代の漫画作品に影響を与えているのでしょうか。

“人文知”とは“想像する力”です。歴史と古典を学ぶことで、自分たちの当たり前を問い直し、「今」の価値観だけにとらわれない、自由な想像力を手に入れてください。

祇園祭（後祭）

久留島元（文学専攻）

現代とは異なる、しかし確実に現在につながっている時代の文学を学ぶことで、「今」だけにしばられない、自由で多様な知のありかたを手に入れましょう。

Q. この時代に人文学を学ぶ意味はあるのでしょうか？

新型コロナウイルス発生により、たくさんの人が亡くなり、経済は混乱に陥っています。このような危機において、人文学を学ぶことにはどんな意味があるのでしょうか。

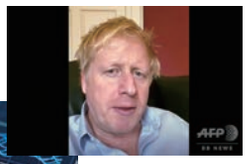
A. 私たちはどんな世界に住みたいのか。それを考えるのが人文学なのです。

新型コロナウイルス大流行による危機は、価値観の変更をもたらしつつあります。英国のボリス・ジョンソン首相は、自らこの病気にかかり治療を受けるなかで、「社会というものは確かに存在することがわかった」というコメントを出しました。これはかなり衝撃的なものです。なぜなら、この言葉は、ジョンソンから見れば大先輩であるマーガレット・サッチャー元首相の「社会などというものは存在しない」という言葉の全否定だからです。

サッチャーの言葉は、この世に実在するのは個人だけであり、この世界は自己責任のみで成り立っているのだ、と主張するものでした。そしてこの原理に従って、様々な改革が進められてきたのです。その結果生まれたのは、極度に効率性を求めたために、天災や疫病に対して脆弱な世界でした。

私たちは、どんな世界に住みたいのか、根底的に問いただされています。この問いを思考するのに不可欠なものこそ、人文学の素養なのです。

2020年世界的に流行した
新型コロナウイルス



罹患したイギリスの
ジョンソン首相

撮影：梅谷秀司

白井 聡（社会専攻）

大学時代に何より大切なのは「知的に生きる姿勢を身に着ける」こと。日頃から物事の本質をつかむ努力をする姿勢を身につけて、豊かな人生を送ってほしいと心から思います。

Q&A

TEACHERS' VOICES

Q. 新型ウイルスの感染が広がる今、歴史に学べることはありますか？

2020年、新型コロナウイルスの感染の広がりは、世界中で大きな問題になりました。こうした「今の問題」を考えるうえで、歴史から何を学べばよいのでしょうか？

A. 幕末の歴史を紐解いて、コレラの大流行を調べてみましょう。

大村竹次郎「虎列刺退治（コレラたいじ）」※1

緒方洪庵「虎狼痢治準（コロリチジュン）」※2

伝染病は人類にとって常に大きな脅威でした。交易が世界規模に拡大した19世紀には、インドの風土病であったコレラが世界中で流行しました。多くの人々が亡くなった幕末の大坂では、都市を統治する町奉行が、日常生活での注意点と有効な薬の周知とともに、薬の無償提供の対象となる困窮者を探すことを、町（住民の共同体）に命じました。このように、新たな病と闘った過去の人々も、皆が適切な対応を取ることで命を守り、事態の収束を目指したのです。私たちも新型コロナウイルスの脅威に直面しています。社会が大きく動揺するなか、一部の人々のモラルに欠ける行動によって、感染拡大や大きな混乱も生じています。ぜひ、現在の社会で起こっている問題と向き合ってください。そうすることで、再び困難な状況に陥った時にも、然るべき行動・態度を冷静に選択できる力を身につけましょう。

※1 東京都公文書館デジタルアーカイブより（請求番号お114）
※2 国立国会図書館デジタルコレクションより

吉元加奈美（歴史専攻）

歴史学とは、古文書（史料）を読み解き、人びとの営みから社会のあり様を明らかにする学問。歴史を学び、現在を生きる「わたし」と社会の関係の理解も深めましょう。

Q. 伝統文化に関わっていくには何をすればいいですか？

着物や茶道、能楽など、京都のまちに受け継がれるさまざまな伝統文化。憧れはあるけれど、敷居が高いと感じてしまうことも。どんなアプローチをしたらよいのでしょう。

A. 学ぶことも「伝統」を受け継ぐこと。弟子入りしなくてもいいのです。

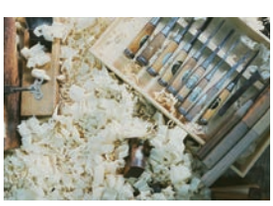
職人さんの工房見学のようす

京都市には約2万人もの伝統工芸の職人さんがいます。着物や建築、茶道、能楽など、ありとあらゆる「伝統」の継承を職人さんたちのものづくりが支えています。そうした職人さんのなかには「最後のひとり」と呼ばれる人も少なくありません。数百年以上にわたって育まれてきた唯一無二の技術を受け継ぐ人が誰もいないのです。

伝統文化の継承法は、なにも弟子になることだけではありません。まちを歩き、その卓越した技術や知識を記録することもまた、伝統を受け継ぐ行為なのです。

日本文化専攻では、京都のまちとそこで暮らす人々に学ぶカリキュラムがたくさん用意されています。職人さんたちが働く現場には、書物からは知り得ないあなただけの学びがあふれています。そして、あなたがノートに記したわずか一行の記録が、いつか誰かの学びとなって文化の継承に繋がることもあります。

あなたの学びが文化を残す。それは、けっして大袈裟なことではないんですよ。



大切に使われている手仕事の道具

米原有二（日本文化専攻）

職人さんたちの唯一無二の手仕事を、滅びゆく過去の遺産ではなく、私たちの現在と未来を豊かにする文化としてとらえて、ともに考え、ともに学びましょう。

グローバルスタディーズ学科

Department of Global Studies

海外体験を軸に
アフリカ・アジアから世界を見つめる

あらゆるものが国境を越えていくグローバル社会では、今の社会のあり方を問い直し、未来を見通す力が求められています。2021年に新設するグローバルスタディーズ学科は、大変革期を迎えているアフリカ・アジアを中心に、文化や歴史、政治経済を多角的にとらえていきます。世界各地でのフィールドワークを通して、語学とコミュニケーション力を磨きながら、自分の研究テーマを追求。また、自国の社会や文化にも目を向け、世界に通用する人を育みます。

グローバル関係専攻

グローバル化が進み、国境の意味が曖昧になる現代。改めて世界の枠組みを見つめ直す必要性が高まっています。国や地域の枠組みではなく、地球規模で社会や文化、経済の動きを理解し、グローバルな課題に取り組む力のある人を育てます。

グローバル共生社会専攻

環境問題や経済問題など、地球規模で影響を与え合う問題を解決するには、異なる文化的背景を持つ人々が力を合わせる必要があります。人種、国籍、性別、経済を超えて、個と個がつながりあう新しい共生社会のあり方を探求します。

アフリカ・アジア文化専攻

約77億人の世界人口のうち、約7割が暮らしているアフリカ・アジア地域。これからの世界で、想像以上に存在感を増すことが予想される、アフリカ・アジア地域の文化や社会を研究。異文化との交流を通して視野を広げることを目指します。

4年間の学び

1年次　世界の文化を学び、自身の興味を探る

まずは専攻に縛られず、世界各地の文化の成り立ちを理解。2年次からの専攻につながる、国際関係や多文化共生のあり方を学び自分の興味を探ると同時に、海外調査に向けて多様な国の言語を学修。3年次の海外調査に向けて、近隣諸国への短期留学を行います。

2年次　興味関心に合う専攻とゼミを選ぶ

各専攻に分かれて、1年次の学びと短期留学の成果をもとに自分の研究テーマを模索。グローバル社会を理解するために自分が育った国の文化を学びます。後期からはゼミを選択。海外長期フィールドワークの核となるテーマを絞り、関連する知識を身につけます。

1 アジア諸国に短期留学（1年次）

アジア諸国に約2週間の短期留学をする「短期海外ショートプログラム」を実施。東南アジアの社会と芸能文化の体験や、ボランティア活動など興味のあるテーマを選択して参加します。異文化に直接に触れ、3年次の長期フィールドワークの土台となる基礎力を養います。

2 世界各地で長期フィールドワーク（3年次）

セネガル、ベトナム、タイなど計7か国から拠点を選び、世界各地で最大6ヶ月間の長期フィールドワークを行います。滞在中は現地の提携先大学などで語学を学びながら、現地の人々とも交流。自身で設定した研究テーマに応じて、調査・研究を進めていきます。

フィールドワーク事例

- ニュージーランドでマオリの衣装を研究
- ベトナムで孤児と孤児院の現状を調査
- セネガルで宗教組織の環境問題への取組を研究
- 台湾でルカイ族を研究

POINT 1

世界の体験から学び将来の道につなげる

長期フィールドワークの目的は、調査を通じたリアルな異文化体験から世界各地で起きている問題を理解すること。その経験を活かし、身近な社会にある問題を発見し、これからの世界を自分の視点で予測する力をつけます。

POINT 2

コミュニケーションを目的とした語学修得

多様な地域から発信される情報を読み解き、異なる国の人々と意見交換を行うための語学力を身につけます。英語はもちろん、アフリカ圏の共通言語であるフランス語を学べば、現地の文化や経済への理解が深まります。

POINT 3

幅広く選べるテーマに基づく滞在先

社会問題や芸術、宗教、食など、幅広い分野から研究テーマを自由に設定できるのは、「文化」を学ぶ学部の強みです。自分のテーマに応じて、アジアやアフリカ諸国、ヨーロッパ、アメリカなどから滞在先を選択できます。

POINT 4

滞在時も教員が研究をサポート

渡航前から、滞在先に関する知識や注意事項、テーマを効果的に調査するための方法など、授業や教員による個別指導のもと準備を行います。滞在中は世界各地での研究経験豊富な教員がしっかりサポートします。

3年次　海外長期フィールドワークへ

1、2年次に得た知見を活かし、自分の研究テーマを調査・研究する最大6ヶ月間の海外フィールドワークへ。日本では得られない経験を積み、目標達成に向けて課題に取り組みます。帰国後は、現地で集めたデータや体験を整理して活動報告。卒業研究の準備を整えます。

4年次　卒業研究に取り組む

海外長期フィールドワークで得た調査結果や資料をもとに、研究テーマに沿って論理的にまとめ、卒業論文として発表します。論文執筆は、構想段階から担当教員が一対一で指導にあたり、卒業後の進路へのステップとなる、4年間の集大成をサポートします。

わたしの「問い」× グローバルスタディーズ学科

異文化、多様性、共生。グローバルな世界とコミュニケーションするうえで、
キーワードとなるこれらの言葉を、どんな「問い」で紐解いていけばよいのでしょう？
グローバルスタディーズ学科の先生たちに聞いてみました。

Q. 「異文化」を理解するには、海外で生活しないと無理でしょうか？

「異文化理解」「多文化共生」を実現するには、何が必要だと思いますか？ やはり、日本とはまったく異なる文化の国で暮らす経験がないと難しいのでしょうか。

A. いいえ。「異文化」との出会いは、この日本のなかにもあります。

ダカールの街角

私が初めて「異文化」に出会ったのはストリートダンスを始めた高校時代。深夜の横浜のショーウインドー前、渋谷や新宿の公園で、ダンサー仲間と「深夜錬」をする中で見たのは、同じ時代の日本に生きているのに、同じ価値観や文化を共有していない人々の姿でした。会社帰りのサラリーマン、繁華街で働く人々、たまに世間話をするホームレスの男性、そして学生の自分……。そのときに垣間見た社会のなかの「異文化」と、誰もが抱えてしまう人生の葛藤をふたたび見出したのは、日本から遠く離れたアフリカで研究生活を送っているときでした。

確かに、私が研究する西アフリカのイスラーム圏には、日本と異なる習慣や信仰があります。しかし、そこに暮らす人々は、私たちと同じように生活の悩みを抱え、夢や目標を持ち、家族や友人を思いながら日々を生きています。まずはこのことを実践的に理解することから、日本も世界も視野に入れた共生社会への一歩が始まるのではないでしょうか。

夕暮れの東京・新宿

阿毛香絵（グローバル共生社会専攻）

相手の視点に立って見ると、私たちが暮らす日本社会の中にも、今まで気づかなかったり知らなかった文化や習慣、生活があることを知るきっかけにもなりますよ。

Q. 日本の納豆のような食べ物は、他の国にもあるのでしょうか。

日本食のなかでも、納豆はネバネバするうえに匂いも独特です。こんな食べ物は世界中探しても珍しいと思うのですが、他の国にも納豆はあるのでしょうか。

A. 西アフリカにある“納豆”は、地域の共生を読み解く鍵です。

西アフリカの“納豆”「スンバラ」

マーケットのスンバラ売り

日本の食文化には、醤油、味噌、漬物や納豆など、さまざまな発酵食品があります。素材や方法は違えども、発酵食品は世界中に存在します。日本から1万キロ以上離れた西アフリカも例外ではありません。なんと、西アフリカには“納豆”と呼ぶにふさわしい、豆を発酵させた「スンバラ（ジュラ語、モシ語では「コロゴ」）」という食品があるのです。スンバラは、日本でいえば醤油や味噌のようなもので、地域によって原料や使い方が異なります。そして、いずれの地域でも、家庭や郷土の味の中心的な要素になります。

私が調査地とする西アフリカのブルキナファソには、地域の植生に基づき、主に3種類のスンバラがあります。全国から多くの人が集まる、首都のワガドゥグのマーケットに並ぶスンバラは、その周りに住む人の出身地はみごとに一致します。都市には地縁・血縁に基づく共生社会が形成されることが多く、郷土の味を通して都市の形成の一端を見ることもできるのです。

清水貴夫（アフリカ・アジア文化専攻）

大学の学びは「より善い」答えを求め続けること。砂漠の中の一つの石を探すような作業もありますが、意外なところで面白い発見があると胸躍る気分になりますよ。

Q&A

TEACHERS' VOICES

Q. 海外からの移民が増えるなか「共生」をどう考えればよい？

近頃、ニュースなどで耳にする「移民」というキーワード。海外から日本に移民してくる人たちと「共生」して社会をつくるには何が大切なのでしょうか。

A. 「留学生」「労働者」ではなく、「人」として受け入れましょう。

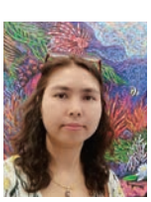
政治・経済・教育などの要因によって移民として他国で生活をする人々が増えています。国連によると、全世界の国際移民人口は年々増加傾向にあり、2019年には2億7200万人に。世界人口に占める割合は2000年の2.8%から2019年の3.5%へと上昇しています。

マレーシアにあるミャンマー人移民経営の携帯ショップ

一方、移民人口の多い国別ランキングでみると日本は26位、約250万人で推移しています。これまで日本は、外国人留学生の受け入れを政策的に拡大したり、実習生という名の下で外国人労働者を受け入れたりしてきました。労働不足問題が深刻化している産業分野においては、特定技能という新しい制度で外国人労働者の受入拡大も試みています。

彼らは単なる留学生や労働者ではなく、異なる言葉や文化・習慣をもつ人々です。当然、労働者受け入れ拡大ということは、彼らの文化・習慣を知り、理解したうえで、受け入れなければなりません。このような研究や授業が、日本社会において増加していくであろう移民と共生するにあたって一助となることを願っています。

来日予定の高度人材が学ぶ日本語教室風景



ナンミャケーカイン
（グローバル共生社会専攻）

大学は学問を学ぶ場であり、友達を増やして、いろいろなことを自由に挑戦することができる良い機会です。様々な人との交流を通じて学び合いましょう。

Q. 人間が暮らす場所である住居に、いろんなかたちがあるのはなぜ？

木造、鉄筋コンクリート、レンガ、あるいは天幕など、世界各地にはいろんな住居のかたちがあります。なぜ、こんなにもバリエーションがあるのでしょう。

A. 世界各地の住居と暮らしは、地域性にもとづいています。

現在の住居建築には、鉄・コンクリート・ガラスをはじめとする工業製品が用いられるようになりました。集合住宅などは形状も間取りも似通っていて、そこに住む人々の暮らしには、かつてほどの地域性も見られなくなっています。すべての人が安全で快適な住居を確保し、暮らしを営めることは大切です。しかし、あまりにも画一性を求め、均質化した住居は、誰にとっても十分でないものになるのかもしれません。

世界に目を向けると、長い歴史のなかで人々はそれぞれの地域固有の住居をかたちづくってきました。住居を通して浮かび上がってくるのは、自然環境、生業、慣習、信仰、家族形態など、暮らしのさまざまな要素。そのなかには、私たちの生活では思いも寄らないものもあれば、とても親近感の湧くものもあるかもしれません。

住居は誰にとっても身近で親しみのある、そして不可欠なものです。世界の住居と暮らしから、私たちの将来をどのように描いていけるのか考えてみませんか。

かやなどで屋根を葺くフィジーの伝統的な民家

藁葺きでつくられる伝統的なバヌアツの家

藤枝絢子（学科共通）

フィールドワークでは、そこに身をおいた「私」の個人的な体験から、問いを見つけ、紐解いていきます。自身の感性を大切にしてくださいね。

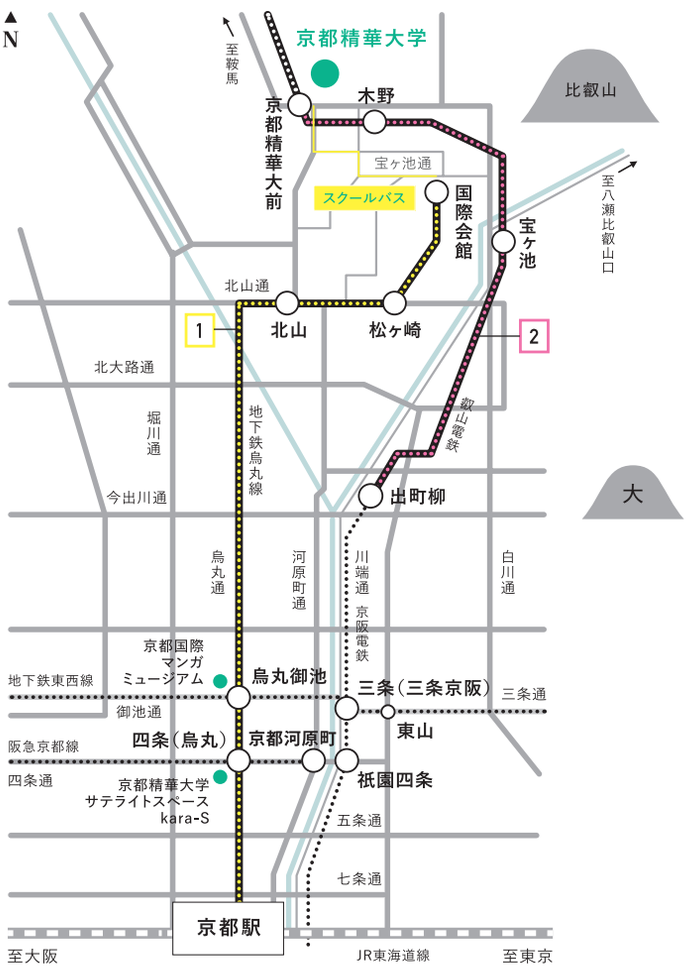
2021年度入試情報 （詳細は大学Webサイトより「入試情報」ページをご確認ください）

試験日	入試種別	試験内容
9/13・15	総合型選抜1期	体験授業
11/14・15	学校推薦型選抜公募制／外国人留学生入試1期	面接　学力※1　小論文　から選択（試験日程による）
12/13	総合型選抜2期	グループ面接
2/2・3・4	一般選抜1期／外国人留学生入試2期	面接　学力※2　小論文　から選択（試験日程による）
2/24	一般選抜2期	学力※1
3/12	一般選抜3期	面接
—	大学入学共通テスト利用	高得点の2教科・2科目

※1 英語・国語・数学から2科目選択　※2 英語・国語・数学・日本史B・世界史Bから2科目選択

ACCESS

京都精華大学が位置するのは、京都の中心地から電車で20分ほどのアクセス便利なエリア。
通学途中には、文化施設や世界遺産などのカルチャースポットも目白押しです。



1 JR「京都」駅から約30分
京都市営地下鉄「国際会館」駅下車、3番出口より無料スクールバスで約10分
※阪急沿線からは「烏丸」駅で地下鉄「四条」駅に乗り換え

2 京阪電車「出町柳」駅から約20分
叡山電車に乗り換え「京都精華大前」駅下車徒歩すぐ

主要駅からのルート・所要時間案内

京都市内から	京都	地下鉄 烏丸線 20分			国際会館	スクールバス 10分	京都精華大学	
	二条	地下鉄 東西線 4分	烏丸御池	地下鉄 烏丸線 14分	国際会館	スクールバス 10分		
	三条	京阪本線 特急 4分	出町柳	叡山電鉄 鞍馬線 17分	京都精華大前			
大阪から	大阪	JR東海道本線 新快速 29分	京都	地下鉄 烏丸線 20分	国際会館	スクールバス 10分		
	大阪梅田	阪急京都本線 特急 40分	烏丸・四条	地下鉄 烏丸線 16分	国際会館	スクールバス 10分		
	淀屋橋	京阪本線特急 54分	出町柳	叡山電鉄 鞍馬線 17分	京都精華大前			
兵庫から	三ノ宮	JR神戸線 新快速 52分	京都	地下鉄 烏丸線 20分	国際会館	スクールバス 10分		
滋賀から	大津	JR東海道本線 9分	京都	地下鉄 烏丸線 20分	国際会館	スクールバス 10分		
奈良から	近鉄奈良	近鉄京都線 特急 36分	京都	地下鉄 烏丸線 20分	国際会館	スクールバス 10分		

OPEN CAMPUS

オープンキャンパス
各日10:00〜16:30

■ 全学部オープンキャンパス

2020年 6/7(日)　7/25(土)・26(日)　10/25(日)
2021年 2/13(土)・14(日)　3/21(日)

■ 国際文化学部・メディア表現学部オープンキャンパス

2020年 9/27(日)　12/20(日)

京都精華大学のオープンキャンパスでは、大学の説明会や体験授業など、京都精華大学の学びや入試を理解できるプログラムを多数開催。9月と12月には国際文化学部に特化したオープンキャンパスも開きます。ぜひお越しください。

京都精華大学

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137
TEL 075-702-5197
E-mail shingaku@kyoto-seika.ac.jp
https://www.kyoto-seika.ac.jp

www.kyoto-seika.ac.jp
※デバイスによっては
読み取れない場合があります。

twitter
@seika_sekai
@seika_shikao

Instagram
@kyotoseika

Facebook
@KyotoSeikaUniversity

掲載している内容は
2020年4月現在の情報です。